

越谷市自治基本条例 子ども版パンフレットの活用状況について

1. 子ども版パンフレットの概要

第1期越谷市自治基本条例推進会議からの報告書「自治基本条例の実効性を確保するための課題について(平成23年2月)」において、条例の若い世代への普及の取組みの一つとして、「小学校高学年を対象とした分かりやすい表現で解説したパンフレットの作成・配布」に関する提言があり、小学校6年生を主な対象として作成したもの。

2. 配布について

(1) 配布目的

次代のまちづくりの担い手である子どもたちに「自治基本条例」に対する理解を深めてもらう。

(2) 配布対象

市内小学校6年生全員(令和2年度…3,014人)

(3) 配布物

- ・越谷市自治基本条例パンフレット【子ども版】
- ・越谷市自治基本条例条文

3. 授業での活用について

(1) 活用方法

社会科公民分野の政治に関する単元において、国民生活に国や地方公共団体のはたらきが反映されていることを学ぶ際、自治基本条例を活用する。

※ 教員に指導の参考資料(逐条解説・活用に係る留意事項等)を配布

※ 授業後、子ども版パンフレットの活用状況に関するアンケートを実施

(2) 令和2年度の活用実績(活用状況に関するアンケートの集計結果)

		〔前年度〕
①授業で活用した学校数	<u>28校</u> ／30校	〔29校〕
②授業での平均取扱い時間	<u>42.7分</u>	〔74分〕
③資料の配布状況	パンフレット【子ども版】	<u>29校</u> ／30校 〔29校〕
	自治基本条例条文	<u>26校</u> ／30校 〔22校〕

※ 学校別活用状況の詳細は、次頁以降をご参照ください。

越谷市自治基本条例 子ども版パンフレットの活用状況アンケート結果

No.	小学校	時間 (分)	平均		合計		活用状況	学習成果	感想	その他
			42.7	29	26					
			30	30	30					
		配付物								
		子ども版		条文						
1	越ヶ谷	45	○	○	◇憲法の3原則と関連して学習 ◇地方自治(地方分権)の説明	◇憲法を基本に、自分たちの生活の身近に市の条例があることを感じた。	◇市の条例が憲法とつながっていること、市民が中心であることを学んだ。	-		
2	大沢	30	○	○	◇わたしたちの生活と政治「子育て支援の願いを実現する政治」の単元において、自分たちが暮らす越谷市について詳しく知るために使用した。	◇広報等で読んだことのある内容もあり、子供たちも興味をもって学習できた。 ◇自治基本条例について簡潔にまとめてあり、詳しく知れた。 ◇市議会について教科書で学習したことが、自分たちの市でどのように取り組まれているのか知ることができた。	◇イラストもあって読みやすかった。 ◇大切なルールや、市議会や市長とのつながりが図で書かれていてわかりやすかった。	-		
3	新方	45	○	○	◇「わたしたちの暮らしと日本国憲法」の単元で活用した。わたしたちの住む越谷市のきまりを、「子ども版パンフレット」や「自治条例の条文」を活用しながら紹介した。	◇自分たちの暮らす越谷市にも、住みよい社会をつくるためのきまりが定められていることを理解することができた。「自治基本条例」は、よりよいまちにしていこうための大切なルールであることが理解できた。	◇どうして法やきまりがあるのか考えたことはなかったですが、法やきまりは、自分たちの暮らしをよりよくするためにあるということがわかりました。	-		
4	桜井	40	○	○	◇政治単元内の学習で越谷市でもよりよい暮らしを実現する取組が行われていることに触れる形で活用した。	◇越谷市の政治に対して興味を示した。	◇詳細な説明もあり、とても勉強になった。 ◇難しい内容がとても分かりやすくまとまっている。	-		
5	大袋	15	○	○	◇越谷市自治基本条例について調べ、越谷市が市民に向けてどのような取り組みをしているのかを確認した。	◇教科書は他市の取り組みしか載っていないので、越谷市の取り組みを読んだことで、身近に感じていた。	◇越谷市でこういうパンフレットを作っていることを初めて知った。	-		
6	荻島	45	○	○	◇「わたしたちの生活と政治」において、子どもたちにとって一番身近な越谷市ではどのようなになっているのかを教科書で扱われている「子育て支援の願いを実現する政治」に併せて学習した。 ◇「まちづくり」に必要なルールについても話し合わせ、よりよい越谷市にするために、一人一人が「まちづくり」に参加するための意欲をもたせるよう指導した。	◇実際に越谷市の行政の仕組みを知ることができ、より理解が深まったように感じる。さらに、「まちづくり」について話し合うことによって、よりよい越谷市にしていこうためには、一人一人が「まちづくり」に参加することが大切であることを理解することができ、自分達ができることを行いたいという意欲をもたせることができた。	◇「子育て支援の願いと児童センター」の学習において教科書と越谷市の比較をした際に、越谷市も同じだという意見が多かった。「まちづくり」に必要なルールについて話し合わせたことで、より越谷市について身近に考えることができた。また、一人一人が「まちづくり」の主人公であることも理解することができた。	◇子ども版パンフレットのおかげで、児童は越谷市のまちづくりについて理解することができた。また、パンフレットを活用したことで、「調べたい」という意欲をもたせることもできた。		

No.	小学校	時間 (分)	配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
7	出羽	45	○	○	◇子育て支援の願いを実現する政治の学習で、越谷市の条例も市民の願いから作られていることを指導した。	◇条例や市政を身近に感じることができ、意欲が向上していた。 ◇市政の仕組みを、図やイラストで視覚的に理解することができた。	◇家族にも、越谷市の条例を教えてあげたい。 ◇私たちも、越谷市民として、条例を守っていききたい。	—
8	蒲生	45	○	○	◇自治基本条例子ども版パンフレットP4, 5を基に、市民の願いや思いを市議会や市長がどのように関わってかなえていくのかを学習した。	◇実際に居住している市が取り扱われているため、実感を伴った理解につなげることができた。	◇国会のニュースはよくテレビで見られるけれど、越谷市でも国会のようなことをやっていることを知りました。 ◇大人だけでなく、子どもの願いや思いまで越谷市が考えていることに驚きました。	—
9	大相模	60	○	○	◇教科書の内容に合わせて市の条例について学習する際、学級全体で読んで活用した。	◇分かりやすいようだった。 ◇教科書で学んだ内容がより深まった。 ◇興味をもって読んでいた。	◇よくわかって、もっと知りたくなった。 ◇越谷市のことがもっと好きになった。	—
10	増林	40	○	○	◇市議会、市役所の働きの単元で、「条例」を理解させるために活用した。	◇市議会、市役所が市民の願いをか叶えるためにあることを理解させることができた。	◇越谷市の名所を知れてよかった。 ◇市も国と同じ仕組みだということが分かった。 ◇イラスト付きでわかりやすい。	—
11	川柳	10	○	○	◇憲法(国民主権)に絡めて条例について紹介した。 ◇地域の願いを実現する政治でパンフレットを活用した。	◇自分たちの市の条例などを具体的に知ることができた。 ◇子どもたちが自分たちのまちについて学ぶことで意欲的に学習していた。	◇自分たちが参加している活動の意味を知った。 ◇自分たちのまちもルール(条例)によって成り立っていると知りました。	—
12	南越谷	20	○	○	◇市役所、市議会の働きについて学習した際に活用した。	◇越谷市の条例について分かりやすくまとめられていたため、子どもたちも興味をもって学ぶことができた。 ◇文字だけだと難しいように感じるが、イラストがあると興味◇関心を持って、抵抗なく読んでいる様子が見られた。	◇教科書で勉強した市民、市役所、市議会のつながりを復習することができた。 ◇選挙がどうして大切なのか分かったので、大人になったら必ず投票する。 ◇税金が教育にも使われていると知ったので、勉強を頑張ろうと思った。	—
13	蒲生第二	15	○	○	◇「子育て支援の願いを実現する政治」のなかで市役所、市議会の働きなどを学習した際に活用した。	◇学習内容を身近に感じることができた。 ◇自分たちも「まちづくり」に参加している実感を持てた。	◇自治基本条例を初めて知った。 ◇市民まつりや田んぼアートもまちづくりの一つだと初めて知った。	—
14	東越谷	60	○	○	◇市議会の仕事について調べる際、パンフレットを活用した。 ◇市民を中心に地方自治が行われていることを指導した。	◇自治基本条例はよりよりまちにしていくためのルールであり、まちの特色を最大限活かそうとする市民の願いであることを学習した。	◇市民、市議会、市長等が協力して、憲法に沿って魅力あるまちづくりを行っていることを知った。	—

No.	小学校	時間 (分)	配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
15	大沢北	30	○	○	◇「願いを実現する政治」の学習に合わせ、越谷市でも「参加と協働」によるまちづくりに取り組んでいることを学習した。	◇「地方自治とは、それぞれの町の特徴を生かした魅力的なまちづくりをすることができる。」ことを理解できた。 ◇「自治基本条例」というルールがあることを知った。	◇越谷市でも国の政治と同様に、市議会で条例や予算が決められていることが分かった。 ◇市と市民が協力して魅力あるまちづくりを進めていることが分かった。	—
16	大袋北	30	○	○	◇越谷市に「まちづくり」のための仕組みがあることをパンフレットを使って確認した。	◇身近に感じることができた。	◇越谷市の特産物や伝統工芸品について学んだ。 ◇市議会、市長(市)、市民の3つが関係して「まちづくり」が行われていることが分かった。	—
17	蒲生南	60	○	○	◇「子育て支援の願いを実現する政治」の単元において、市にどんな条例があり、取り組みが行われているかを調べた。	◇市に条例があり、生活に関わっていることに気づいた。	—	◇子育て支援の施策に関する項目が多くあれば教科書にリンクして活用することができる。
18	北越谷	30	○	○	◇教科書の市議会の働きと越谷市の方を比較しながら学習した。	◇学習の理解が深まった。	◇越谷市の働きが具体的に示されていてわかりやすかった。	
19	大袋東	45	○		◇「市民の願いを生かす政治」の学習の中で、住民参加の方法とともに「住民自治の基本的な考え方」を示すものとして自治基本条例を扱った。その際、パンフレットの読み合わせとともに、パンフレットを課題解決のための資料としても活用した。	◇市町村の政治が、行政と住民の協調(協働)を基盤として営まれていることを実感させることができたと考える。	◇越谷市に自治基本条例があることを知らなかった。市民の協力で市の政治が進められていることが分かった。	
20	平方	20	○	○	◇憲法や日本の政治について教科書では尼崎市の事例が出ているため、越谷市と比較するためパンフレットを使用した。 ◇越谷市の条例や取り組みについて学んだ。	◇市民の願いが政治に反映されていることを身近に感じることができた。 ◇越谷市の実際の条例や取り組みを見ることによって、憲法とのつながりを実感することができた。	◇市や国も似たような考え方や政治の仕組みで動いていることが分かった。 ◇ゴミ収集など積極的に参加して市づくりに参加したい。	◇子ども版パンフレットにはイラストが多く使用されているため、興味深く読んでいた。
21	弥栄	45	○	○	◇最高法規である憲法、そしてそれを基にして作られている法律、条例の児童たちにとって最も身近な実例として紹介した。	◇「政治」は偉い人たちが自分の知らないところで日本を動かしている、というイメージから、自分たちにとっても身近な物であるという実感が得られた。	◇越谷市にも条例があり、自分たちにも関係があるということに驚いた、などの感想があった。	◇新型コロナウイルス感染拡大防止のため、話し合う活動を有効に取り入れることができなかつたことが心残りである。
22	大間野	60	○	○	◇「子育て支援の願いを実現する政治」の単元において、市議会の働きを学習した際、子ども版パンフレットを使用した。	◇市議会の働きや、子どもでも市政に参加できる権利が保障されていること理解ができ、子どもたち一人一人が市民の自覚を持つことができた。	◇イラストがあつて分かりやすいが、文字が多い。 ◇越谷市への理解が深まった。 ◇まちづくりに積極的に参加したい。	◇子ども目線で作成されており、地方自治の内容理解の習熟に役立った。

No.	小学校	時間 (分)	配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
23	宮本	25	○	○	◇市民も市政に携わっていることを知った。 ◇越谷市がどのようなまちづくりを行っているのかを確認した。	◇国会の働きと市議会の働きの違いや同じ点などを考えて似ているという反応があった。 ◇身近な活動や行事を振り返りながら実際に見たことや体験したことを結びつけることができていた。	◇越谷市の条例についてももっと調べたいと思った。 ◇まちづくりの取り組みにはいろいろあることを初めて知った。	—
24	西方	45	○		◇地方公共団体の政治の学習において、越谷市の事例を取り上げの中で活用した。	◇越谷市でも同様に取り組んでいることを知り、学習をより身近なものであると感じた。	◇カラー印刷で見やすかった。	
25	鷺後	45	○		◇児童とともに読み進めた。 条例を知らない児童に意味が理解できるように進めた。	◇学習した川口市と越谷市を比較し、共通点や相違点を出し合い、改めて越谷市の良さやこれからの未来への希望を話し合い、意見を交換した。	◇読んでわかりやすい。自分たちにもできそうなことが沢山あることを知った。	◇教科書の内容とともに使用することができるので助かった。
26	明正				授業未実施			
27	千間台	180	○	○	◇憲法のはたらきや意義、国民主権と関わらせながら自治基本条例の仕組みや越谷市の取組を説明した。 ◇「子育ての願いを実現する政治」の単元において、川口市の児童センターができるまでの道筋や市民の願いを越谷市と比較しながら深く考えることができた。	◇社会科の教科書と「越谷市のまちづくり」を比較しながら学習を行うことで、法律や条例、市の政策についてより身近に感じながら実感的に学習に取り組むことができた。 ◇児童の興味関心を引く具体的な事例を挙げながら、指導を行うことができた。	◇越谷市にこんな条例があるなんて知らなかった。 ◇越谷市の様々な取り組みについて、これからも考えていきたい。	—
28	桜井南		○	○	授業未実施 (資料配布のみ)			
29	花田	20	○	○	◇どのような内容が載っているかを確認、内容をまとめる学習をした。 ◇身近な例を挙げながら進めた。	◇越谷市にも教科書と同じような条例があることを初めて知る児童が多く、興味をもって資料を読んでいた。 ◇条例を身近に感じられたようだった。 ◇誰もが市民としてまちづくりに参画することができるという意欲をもった。	◇パンフレットが見やすく、わかりやすかった。 ◇条例を身近に感じる事ができた。 ◇普段知ることのできない市議会の仕事を知ることができた。	—
30	城ノ上	45	○	○	◇政策の内容や計画から実施までの過程などに着目させ、憲法の国民主権の考えが市の政治と「越谷市自治基本条例」といった形をつながりがあることを理解させた。	◇憲法の国民主権の考えは、越谷市の政治ともかかわりがあることが知ることができた。 ◇条例がどのようなものかが、分かった。	◇越谷市は、このような条例がつけられていたり、平和都市宣言をしていたりと、憲法と大きくかかわっていることを知ることができた。 ◇この条例を通して、私も越谷の市の政治について、もっと考えてみたいと思った。	◇分かりやすいが、授業内で触れる程度の扱いにしないと、何のために条例を使うのかが不明確になるため、教材研究が必要である。